

ODAWARA

2022年12月期（第44期）
決 算 説 明 資 料

① 株式会社 小田原エンジニアリング

2023年2月14日

ODAWARA ENGINEERING CO., LTD.

○経済の動向

《我が国の経済》

- ・ ウィズコロナの新たな段階への移行が進む中、緩やかな持ち直しの動きが続いた
- ・ 資源価格・原材料価格の高騰、物価上昇、供給制約、金融資本市場の変動等の影響により、不透明感が増す状況で推移した

《世界経済》

- ・ 欧米…持ち直しの動きが続いたものの、物価の上昇が一段と進行し、インフレ抑制に向けた各国の金融引き締め強化により、景気回復のペースが鈍化した
- ・ 中国…不動産市場の低迷、経済活動抑制の影響などにより、持ち直しの動きに一部弱さが見られた

○当社グループを取り巻く環境

《自動車産業の動向》

- ・ 各自動車メーカーが電動車のラインアップを拡充
- ・ 具体的な対応戦略や投資計画を発表するなど世界的に電動車へのシフトが加速
- ・ 原材料・部品不足が長期化する中、中国における一部地方での都市封鎖、ウクライナ情勢等により、国際物流の停滞、サプライチェーンの混乱
- ・ 一部自動車メーカーでは減産や工場の稼働停止が実施、設備投資計画の見直しや遅れが見られた

《巻線機事業の外部環境》

- ・ 製品の主たる構成部品である制御機器・電気部品等の長納期化が改善されず、原材料価格高騰の影響などもあり、全体として不安定な状況が続いた

○連結業績概要

《営業成績》

(単位：百万円)

指標	実績	前年同期比	増減要因
売上高	14,086	3.9%増	
営業利益	967	8.7%減	▶ 巻線機事業では、利益率の高い従来製品や機種追加に伴う改造、予備品関係の販売促進を行うことにより、制御機器・電気部品等の長納期化の影響を最小限に抑えるべく対応を続けた
経常利益	1,118	11.2%減	▶ 送風機・住設関連事業では、送風機事業の軸流ファンの売上が大幅に増加、住設関連事業についても比較的堅調な伸びを示し、全体として好調
親会社株主に 帰属する 当期純利益	801	13.4%減	▶ 巻線機事業において、原価率の高い大型の開発案件を売り上げた

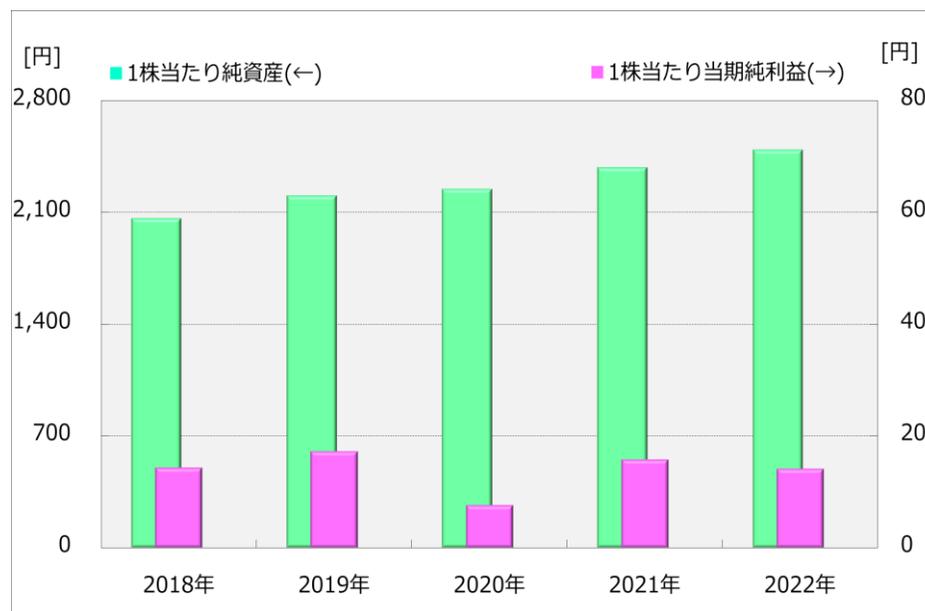
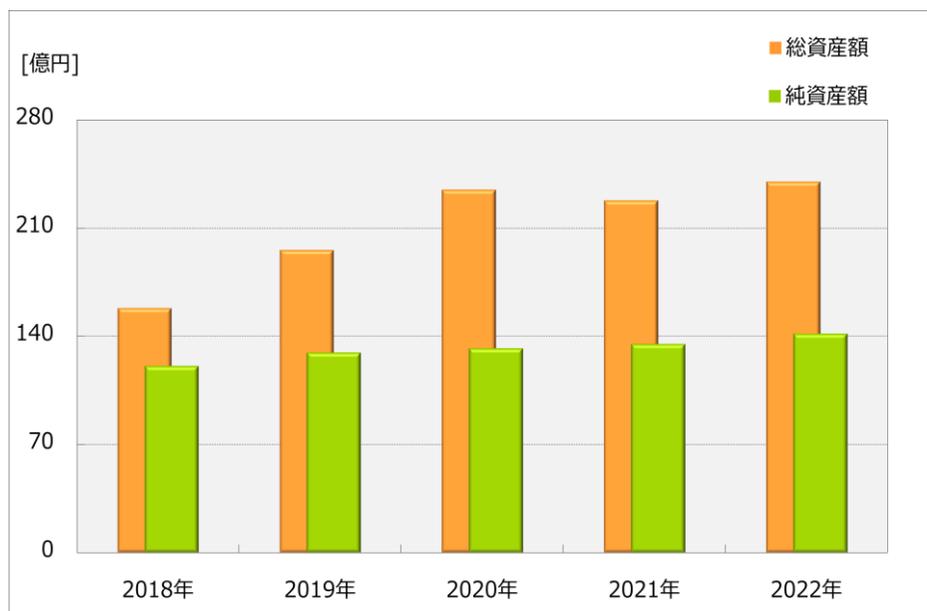
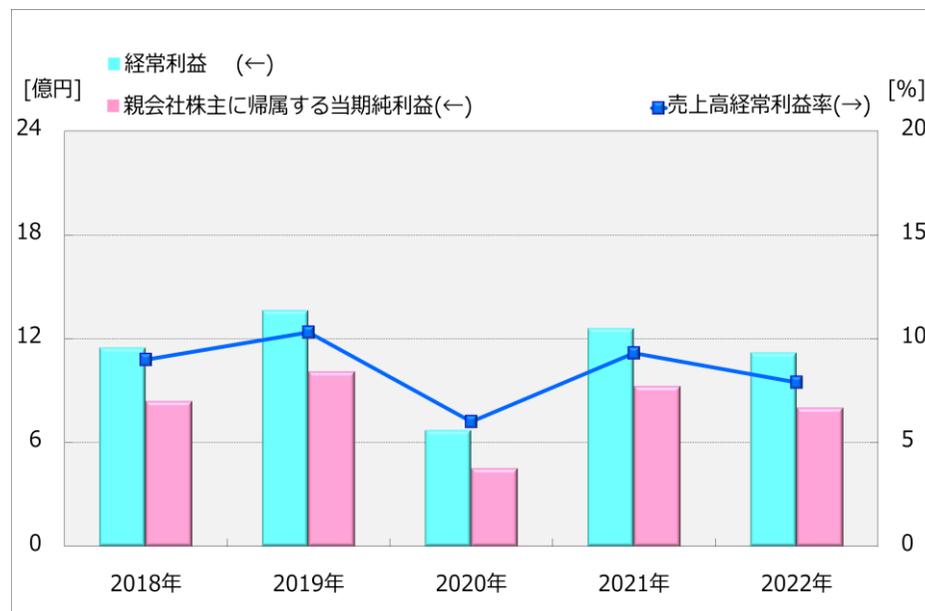
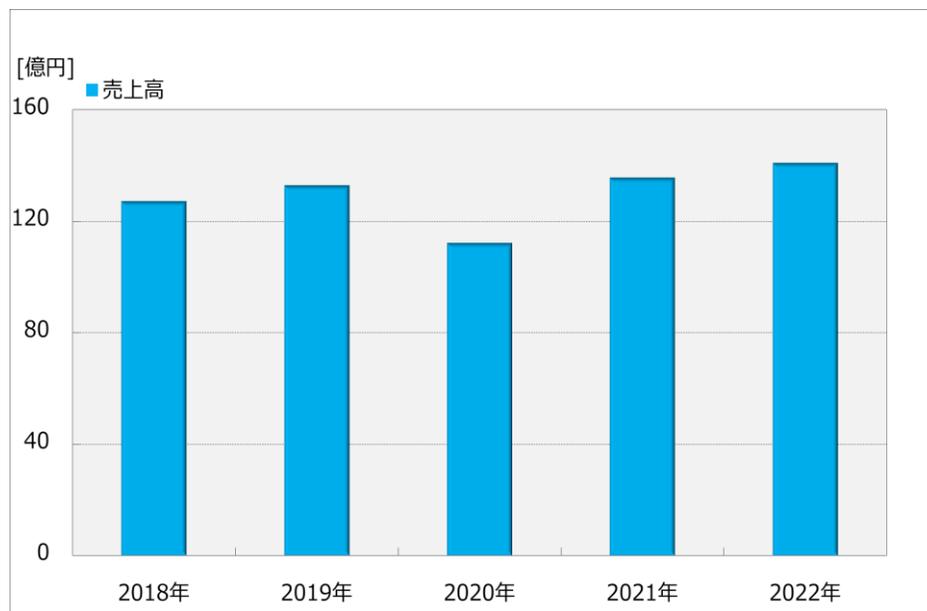
○連結セグメント業績概要

《セグメントの業績》

(単位：百万円)

セグメント	実績	前年同期比	増減要因	
巻線機事業	売上高	8,519	1.0%減	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 予定していた一部の海外向け案件の売上が翌期にずれ込んだ ▶ 従来製品や利益率の高い改造、予備品等を売り上げるなど利益の確保に努めた
	セグメント利益	987	19.1%減	
送風機・住設関連事業	売上高	5,567	12.5%増	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 中国市場を中心とした工作機械や産業用ロボット・半導体関連向けの軸流ファンが好調を維持した ▶ コロナ禍の持家住宅建築需要やリフォーム需要の拡大もあり、浴室照明器具及び全館空調システムを含む住宅換気装置が堅調に伸びた
	セグメント利益	262	47.0%増	

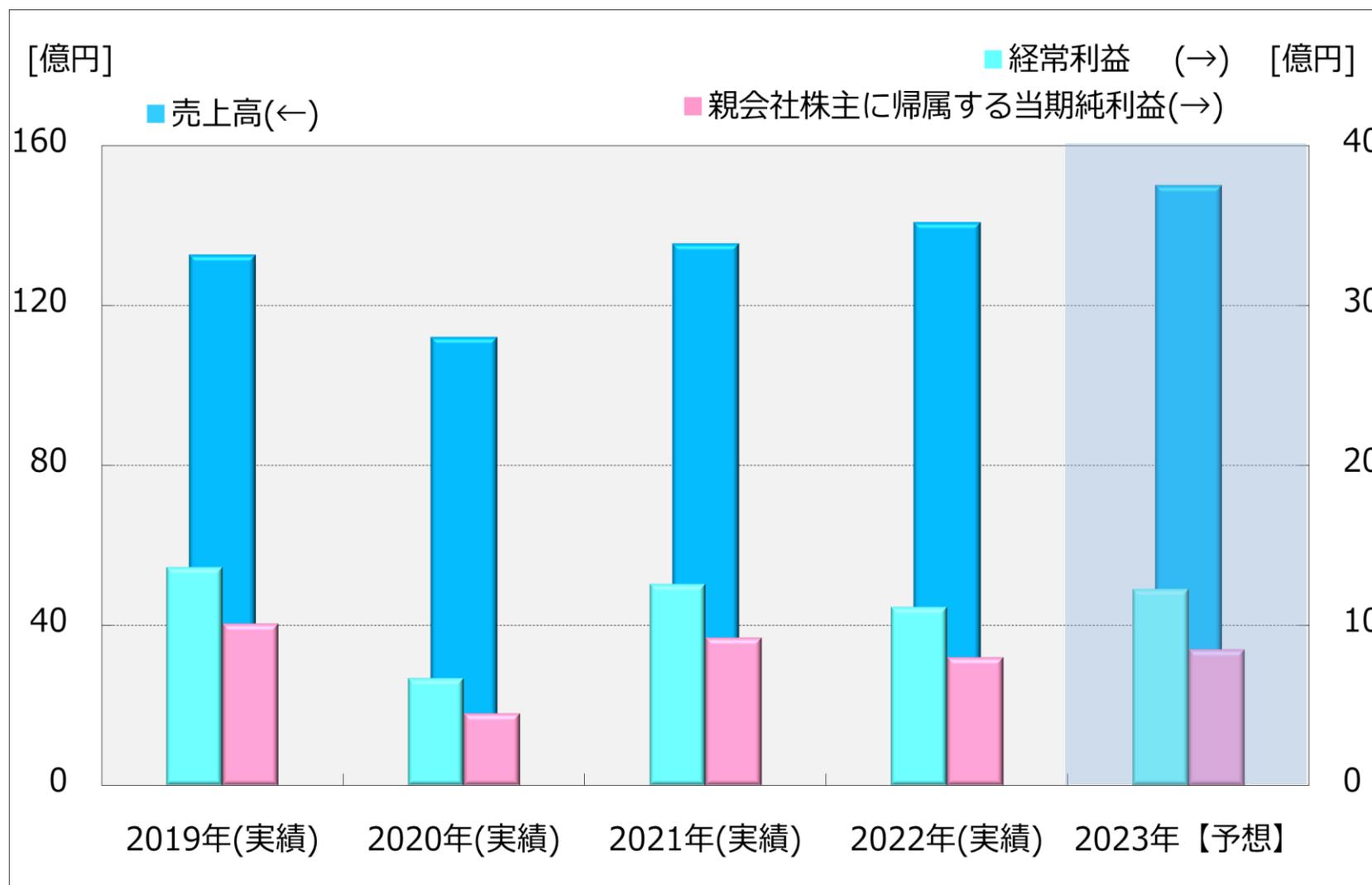
○連結業績の推移



○連結業績の推移

	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
売上高 (百万円)	12,714	13,274	11,208	13,555	14,086
経常利益 (百万円)	1,148	1,364	671	1,259	1,118
親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)	839	1,011	451	925	801
純資産額 (百万円)	12,094	12,950	13,233	13,506	14,169
総資産額 (百万円)	15,843	19,580	23,488	22,783	24,015
1株当たり純資産 (円)	2,065.24	2,207.42	2,248.37	2,382.25	2,495.23
1株当たり当期純利益 (円)	143.47	172.45	76.77	157.98	141.22
売上高経常利益率 (%)	9.0	10.3	6.0	9.3	7.9

○連結業績予想



【次期連結業績予想】

- 売上高
15,000百万円
※前年同期比6.5%増
- 経常利益
1,230百万円
※前年同期比10.0%増
- 親会社株主に
帰属する当期純利益
850百万円
※前年同期比6.0%増

○決算説明資料について

本資料に記載されている業績予想等については、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき、当社グループが判断したものであります。今後の様々な要因の変化により、将来の事業を取り巻く環境が大きく変動することがあります。

従いまして、将来の業績等につきましては、実際の業績等とは異なる場合がありますのでご了承ください。

⑦ 株式会社 小田原エンジニアリング